

オアシススケッチ

～まちの話題～

新しい生活が始まる

四月に入り、町内の保育園や幼稚園で入園式、小・中学校で入学式が行われました。

四月五日、「桜坂」の桜が満開に咲き誇る中で行われた阿久比中学校入学式では、内田校長から、中学校生活でも「ついでに。ダメだ」という言葉は絶対に使わないでください。あきらめない気持ちを持って、明るい未来が開けます」と話があり、新入生二百六十六人を代表して岡部紘明君が「中学校生活のスタートラインに立ちました。自覚を持って勉強や運動に励みます」と誓いの言葉を述べました。皆新しい生活が始まりました。皆さん頑張ってください。



満開の桜



誓いの言葉を述べる新入生代表



英比小学校新1年生

保育園児に「菜の花」の花束をプレゼント



宮津保育園児に花束を手渡すキャラバン隊

愛知県では菜の花を栽培して、エネルギーや製品として活用する「菜の花エコプロジェクト」を推進しています。町内でもJAあいち知多などが中心となり、椋岡地区の畑に菜の花を栽培しました。

3月23日、JAあいち知多女性部などが「菜の花キャラバン隊」を結成しました。畑で色鮮やかに咲いた菜の花で花束を作り、町内の幼稚園・保育園の9カ所を訪れ、園児たちに花束を手渡してエコプロジェクトのPRをしました。

ソフトテニスで全国大会出場



笑顔で健闘を誓う井本さん

3月22日、第6回全国小学生ソフトテニス大会（3月29日～31日千葉県で開催）ダブルス女子4年生以下の部の出場報告に、英比小学校4年の井本純乃さんが町長室を訪れました。

小学校2年生からテニスを始めたという井本さん。「今は練習するのがとても楽しい。全国大会では、相手が取れないカットサーブを決めたいと思います」と笑顔で抱負を話していました。